

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の滋賀県の人口は 1,380,361 人で、前回調査の 12 年に比べ 37,529 人、2.8%増加している。
- 2 人口を市町村別にみると、大津市が 301,672 人（県人口の 21.9%）で最も多く、次いで草津市が 121,159 人（同 8.8%）、彦根市が 109,779 人（同 8.0%）、となっており、最も少ないのは余呉町の 3,931 人（同 0.3%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 681,474 人、女性が 698,887 人で、女性が 17,413 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 97.6 から 97.5 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 213,147 人（県人口の 15.4%）、15～64 歳人口は 916,572 人（同 66.4%）、65 歳以上人口は 249,418 人（同 18.1%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.0 ポイント低下、1.1 ポイント低下、2.0 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 62.9%、女性が 60.4%、未婚率は男性が 30.9%、女性が 22.2%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 22,750 人で、平成 12 年に比べ 3,966 人、21.1%増加している。
- 7 滋賀県の一般世帯数は 477,645 世帯で、平成 12 年に比べ 38,275 世帯、8.7%増加している。また、一般世帯のうち 1 人世帯は 116,197 世帯（一般世帯の 24.3%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 3.02 人から 2.85 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 278,067 世帯（一般世帯の 58.2%）で、このうち夫婦のみの世帯は 86,692 世帯（同 18.1%）、夫婦と子供から成る世帯は 157,529 世帯（同 33.0%）となっている。また、単身世帯は 116,197 世帯（同 24.3%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 166,808 世帯（一般世帯の 34.9%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単身世帯）は 25,757 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 15.4%）、高齢夫婦世帯^{（注）}は 38,749 世帯（同 23.2%）となっている。
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 72.5%で、平成 12 年に比べ 0.5 ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 118.0 m²から 116.8 m²と狭くなっている。

図1 滋賀県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

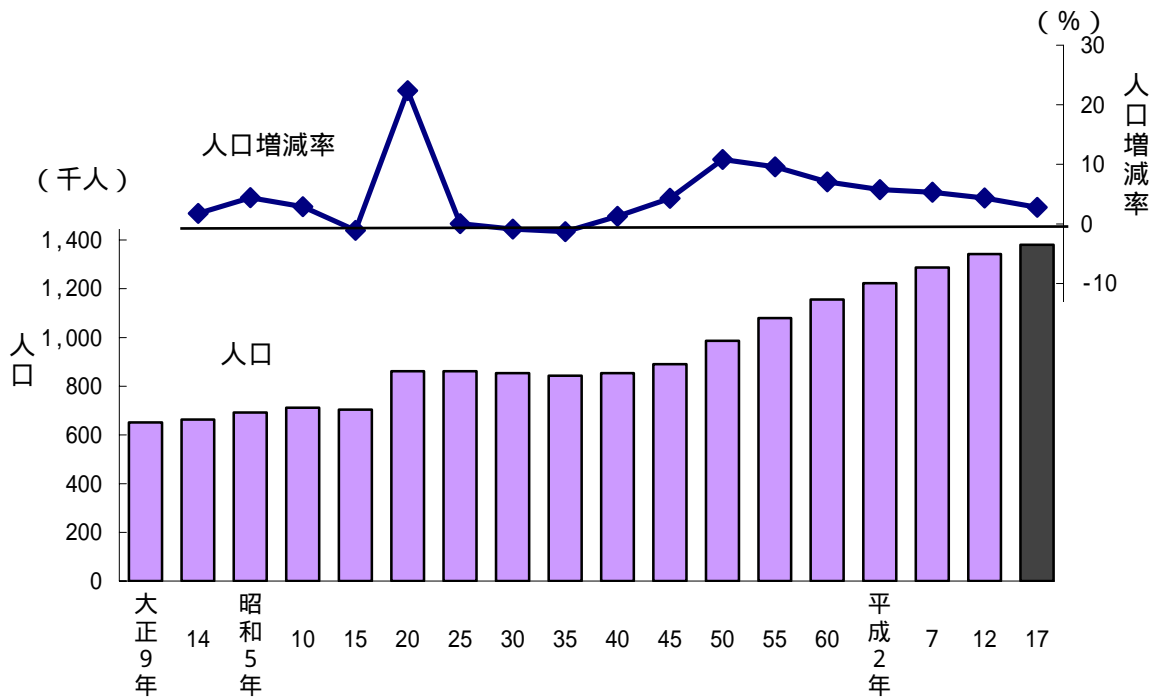


図2 滋賀県の年齢（各歳）, 男女別人口（平成7年・17年）

